

日薬連発第 806 号
2019 年 10 月 23 日

加盟団体 殿

日本製薬団体連合会

「ネットワークメタアナリシスを基礎から学ぶ：概説・事例から留意事項まで」
シンポジウムのご案内

標記について、令和元年 10 月 16 日付け製薬協発第 645 号にて日本製薬工業
協会医薬品評価部 医薬品評価委員会委員長、データサイエンス部会長より
当連合会宛、別添のとおり通知がありました。

つきましては、本件につき貴会会員に周知徹底いただきたく、ご配慮の程よ
ろしくお願い申し上げます。

製薬協発第 645 号
令和元年 10 月 16 日

日本製薬団体連合会会長 殿

日本製薬工業協会 医薬品評価部
医薬品評価委員会 委員長 国忠 聡
データサイエンス部会長 小宮山 靖

「ネットワークメタアナリシスを基礎から学ぶ：概説・事例から留意事項まで」

シンポジウムのご案内

拝啓 皆様におかれましては、ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。

さて、日本製薬工業協会 医薬品評価委員会データサイエンス部会 タスクフォース 4 及び 2019 年継続タスクフォース 5 合同で、シンポジウム「ネットワークメタアナリシスを基礎から学ぶ：概説・事例から留意事項まで」を開催いたしますので、傘下団体の各社にご回報戴き、参加をご希望の方は下記の申込方法により登録戴きたく存じます。

敬具

記

日 時：令和元年 11 月 28 日（木）13 時 00 分～17 時 00 分 受付開始 12 時 30 分

場 所：日本橋ライフサイエンスハブ A・B 会議室

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1-5-5

室町ちばぎん三井ビルディング 8 階（COREDO 室町 3）<https://www.link-i.org/access/hub.html>

参加費： 会員 2000 円

非会員 3000 円

※当日会場受付にて受講票（受付メール）をご提出ください。

定 員： 150 名

プログラム：別紙参照

参加申込締切日：令和元年 **11 月 21 日（木）**

参加申込方法：製薬協加盟会社・非加盟会社は問いません。

参加者多数の場合は人数調整をさせて戴くことがあります。

別紙方法に従ってお申し込みください。

以上

本シンポジウムの概要

メタアナリシスは、利用可能なエビデンスを集約するための手法として医薬品評価などの分野で応用・活用されています。2種の治療を比較することを目的としたメタアナリシス、いわゆる対比較のメタアナリシスは、例えば同種同効薬剤に対する興味の対象の薬剤の位置づけの確認や、承認申請時の統合データ解析に由来から利用されています。ただし、対比較のメタアナリシスで解析の対象にできるのはあくまで2種類の治療であり、興味の治療が3種類以上あるときには、これらを同時に評価することはできません。この対比較のメタアナリシスを拡張したものがネットワークメタアナリシス（network meta-analysis、以下 NMA）であり、例えば薬剤の有効性及び安全性などのアウトカムについて、複数の試験を基に3種類以上の複数の薬剤の比較の結果を統合することで、直接的な薬剤間比較（直接比較）のみならず、たとえ直接的な比較の結果が存在しなくとも間接的な薬剤間比較（間接比較）を行うための方法論です。その有用性から、さまざまな疾病領域で本方法論の適用事例が報告されており、その結果を治療ガイドラインの策定や医療政策決定のための情報として活用することが考えられています。

一方、NMA は、その有用性の反面、評価する治療の数が多いことや方法論の複雑さ故にその特性を理解するのに困難を伴います。さらに、結果の妥当性を担保するために満たすべき仮定も存在するなど、NMA を活用するには留意すべき事項があります。

International Society for Pharmacoeconomics and Outcomes Research（和名：国際医薬経済・アウトカム研究学会）（ISPOR）の、Indirect Treatment Comparisons Good Research Practices タスクフォースが2011年及び2014年にNMAに関して得られた結果の解釈において注意を要する点、及び本方法論の利用や結果の活用についてレポートを公表しています。また、HuttonらによりNMAの適切な評価や解釈に役立つPRISMAのチェックリストが公表されています。また、英国の医療経済評価を行っているNational Institute for Health and Care Excellence（NICE）では、2011年～2012年にNMAを中心とした7つのTechnical Support Documents（TSD）を発行しており、その後2016年までに幾つかのTSDが更新されています。これらのTSDでは、NMAにて共変量などを考慮する方法、及びその頑健性を脅かす異質性及び不一致性の検討及び回避方法について、WinBUGSによる解析事例を示しつつ、具体的に解説されています。

以上のようにNMAは薬剤評価に有用的で注目を集めている手法であるため、実適用のためにはその性質について実務的な検討が必要であると考え、医薬品評価委員会データサイエンス部会タスクフォースにより検討を行いました。

本シンポジウムでは、NMAの概説、最近のhot topics、活用事例などを紹介し、NMAに精通されている先生方のご講演及Q&Aを通じて、NMAの理解を深め、実務的な立場での有用性、実適用へ向けた課題を明確にしていきます。

以上より、本シンポジウムは、今後NMAを活用する可能性のある方々に対して有益な内容になるものと考えております。

日本製薬工業協会 データサイエンス部会シンポジウム

「ネットワークメタアナリシスを基礎から学ぶ：概説・事例から留意事項まで」

日時：令和元年 11 月 28 日（木） 13 時 00 分～17 時 15 分 （受付開始 12 時 30 分）

場所：日本橋ライフサイエンスハブ A・B 会議室

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1-5-5

室町ちばぎん三井ビルディング 8 階（COREDO 室町 3）

13:00-13:10 開会挨拶 データサイエンス部会 菅波 秀規

司会：データサイエンス部会 菅波 秀規

13:10-13:55 最近の NMA の hot topics 東京大学 大庭 幸治 先生

休憩（13:55-14:05）

14:05-14:35 ISPOR レポート データサイエンス部会 TF4 委員 藤井 陽介

14:35-15:05 NMA の事例 データサイエンス部会 TF4 委員 藤井 陽介

休憩（15:05-15:15）

司会：データサイエンス部会 奥山 ことば

15:15-15:45 HTA における NMA 及び異質性、不一致性
の評価 データサイエンス部会 継続 TF5 委 町田 光陽
員

15:45-16:30 NMA のデモンストレーション データサイエンス部会 継続 TF5 委 渥美 淳
員

司会：データサイエンス部会 菅波 秀規

16:30-16:50 QA 東京大学 大庭 幸治 先生

データサイエンス部会 TF4 委員 藤井 陽介

データサイエンス部会 継続 TF5 町田 光陽
委員 渥美 淳

16:50-17:00 閉会挨拶 データサイエンス部会 副部会長 土屋 悟

令和元年 11 月 28 日(木)日本製薬工業協会 データサイエンス部会シンポジウム
「ネットワークメタアナリシスを基礎から学ぶ:概説・事例から留意事項まで」

参加申込方法

☆下記方法に従ってお申し込みください。

- ① 製薬協 HP の中央下「PRAISE-NET」をクリック。
<https://www.praise-net.jp/pn/m/semi/top.asp>
- ② 「講演会等受付システム」をクリック。
開いた画面の下「講演会等受付システムに入る」をクリック。
- ③

PRAISE-NET 会員の方
ID とパスワードを入力、ログインしてください。
PRAISE-NET 非会員の方 (ID をお持ちでない方)
メールアドレス(確認用含む)を入力してください。 おって管理者から確認メールが届きますので、そちらのメール上の URL をクリックしてください。
- ④ 該当する講演会欄の左「詳細・受付」をクリック。
「個人申込」または「グループ申込」をクリックし、必要事項を入力の上、お申し込みください。
- ⑤ お申し込み後、受講票が発行されますので、受講票(受付メール)をプリントアウトして会場受付にご提出ください。
参加費： 有料 会員:2000 円 非会員:3000 円

【お問い合わせ】

講演会の内容に関する件： 日本製薬工業協会 医薬品評価委員会 事務局

電話：03-3241-0395 FAX：03-3242-1767 E-mail：hyouka@jpma.or.jp

参加申込み方法に関する件： 一般財団法人日本医薬情報センター(JAPIC)事務局

電話：03-5466-1812 FAX：03-5466-1814 E-mail：jpma_seminar@japic.or.jp